

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野譲次



重文「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary
Ichinomiya



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 ☎491-0858



世界に希望を生み出そう

URL: <http://rc138.org>

E-Mail: rc138@lily.ocn.ne.jp

2024年4月25日
第3589回例会

会 長 足 立 誠 会長エレクト 佐々木久直
幹 事 富田隆裕 副 幹 事 鶴飼雅弘
副 会 長 山上哲司 会報委員長 野村和弘

プログラム

イニシエーションスピーチ

津田真樹子君

テーマ「自己紹介」

坂倉慶信君

テーマ「自己紹介」

ロータリーソング「四つのテスト」

5月度のプログラム

2日 休会 定款第7条第1節d-1
11日 9日を例会変更 RFF
16日 例会変更 職場例会
23日 イニシエーションスピーチ 青山直生君 田口 誠君
30日 卓話 濱田典保氏(株赤福顧問)

会員誕生日おめでとう

栃倉 勲君(5月 1日) 田口 誠君(5月 8日)
内藤幹夫君(5月14日) 川松久芳君(5月15日)
安藤和人君(5月18日) 辰 守弘君(5月21日)
江崎正和君(5月24日) 吉田真人君(5月25日)
西岡隆夫君(5月27日) 速水英一君(5月28日)

会員配偶者誕生日おめでとう

森 隆彦君夫人 克 江様(5月 4日)
野村晃充君夫人 香 織様(5月15日)
佐々木久直君夫人 詔 子様(5月21日)
佐々憲一君夫人 みどり様(5月21日)
辰 守弘君夫人 ひで子様(5月24日)
伊藤幸一君夫人 景 子様(5月29日)

結婚記念日おめでとう

墨 芳 郎君(5月 5日) 長谷川勝久君(5月 5日)
加藤恭平君(5月 7日) 森 俊 夫君(5月 8日)
森島勝美君(5月10日) 鈴木洋志君(5月12日)
足立 誠君(5月13日) 加藤 亘君(5月14日)
森 全 光君(5月17日) 服部昌志君(5月20日)
浅野 一君(5月21日) 辰 守弘君(5月21日)
内藤幹夫君(5月21日) 土川保夫君(5月22日)
豊島半七君(5月26日) 山上哲司君(5月26日)
青山直生君(5月26日) 松原直次君(5月28日)
栃倉 勲君(5月28日) 吉田真人君(5月28日)
渡邊 肇君(5月29日)

次回の予定

5/2 休会 定款第7条第1節d-1
5/11 9日を例会変更 RFF
5/16 例会変更 職場例会
5/23 イニシエーションスピーチ 青山直生君 田口 誠君

第3588回例会の記録

2024年4月18日(木)

会長挨拶

足立 誠

先の例会にて、『四門出遊』(しもんしゅつゆう)から『出家』に至る導線をお話しました。

29 才、王子であり妃(ヤショーダラー)・息子(ラーフ)まで持つ身でありながらすべてを捨て去り「出家」をおシカ様はなさいました。この時から悟り(正覚・菩提・bodhi)を得る迄の6年間、おシカ様はどのように修行をされたのでしょうか。当時(B.C. 6C)インドの地にて既存の宗教においてそれぞれ最高の努力をし、結果を得られました。先ず「瞑想」(「空無辺処」・「非想非々想処」)の修行で、師と同等の精神的境地にまで立たれたがこれから離れ、次に「苦行」を行ひ死の寸前まで努力された『苦行像』が、これも断念(スジャーターの乳粥)し、自らの道を歩まれて悟りを得られたのです。それが「苦の因を自らの内に探る」瞑想でした。

ロータリーの友4月号

大鹿晃裕

横組み5頁のマッキーナリーRI会長のメッセージです。ウクライナ、中東、中央アフリカなどの武力紛争が頻発しており危機と絶望の状況下では、平和に向けて勇敢に謙虚に最初の一步を踏み出す為に人間同士の共感の心をもたなくてはとあります。14頁からの能登半島地震に対してのロータリークラブ同士の結束の深さと大事さが書かれており助け合いが重要だと分かっているもそれを行う迅速性、何が必要とされているかの本質性、実際の行動力を表すことの重要性を感じます。縦組み記事からは、大阪天満橋 RC の西田勤さん、と言ってもピンと来ませんが、桂文珍さんのコラムがあります。落語界だけなら視野が狭いままだ深さも、RCに入られて様々な方との出会いが人間の奥深さを醸成してくれて、本業の落語にも生かせるのではと感じます。『ロータリーの友』の読者モデルに是非とも応募してみてください。

委員会報告

ニコボックス

原 正則

☆ 柴垣健一君 カルキ・ダル・バハドゥル様

昨年度当クラブでお世話になった米山奨学生のカルキが弊社に入社して一年が経ちました。カルキと永続的にできるビジネスを考え日本とネパールの橋となる合格率15%の法務省告示校であるVEGA日本語学校を一宮市神山に10月に開校できる喜びで。

☆ 江崎正和君 木村憲彦君

本日新しい米山記念奨学生の李 昱さんをお迎えできた喜びで。

☆ 佐々木久直君 鶴飼雅弘君

4月7日の地区研修協議会に出席して頂いた方、お忙しい中ありがとうございました。本日の地区研修協議会報告宜しくお願い致します。

☆ 足立 誠君

先週の土曜13日に本校出身永山竜樹君「オリンピック出場壮行会」をiビルにて関係者約200名のご参加の元、盛大に挙行できました。ご参加頂きましたロータリアンの皆様にも深く御礼申し上げます。

4月13日のあまRC55周年で山上哲司副会長にお世話になり有難うございました。

☆ 鎌田芳彰君

一昨日のゴルフ会で紅組優勝しました。朝組参加者は8名で同スコア3名並びましたが、ダブルペリアに恵まれてラッキーでした。

☆ 長尾昌浩君

4月16日に開催された某ゴルフコンペ白組で優勝させて頂きました。さっぱりパットが決まらず苦戦しましたが、かえってそれがダブルペリアにはまり、いい結果となりました。ありがとうございました。

☆ 富田隆裕君

4月17日の中日新聞尾張版に写真が掲載された喜びで。まちづくりのシンポジウムで商店街の代表として疲れた背中を写して頂きました。

☆ 足立 誠君富田隆裕君

本日、中国からの米山奨学生・李 昱さんとネパールからの元米山奨学生カルキ・ダル・バハドゥルくんにお越し頂いた喜びで。

出席報告

現在の会員数	111名
本日の出席数	60名
前々回の出席率	100%

***** プログラム *****

クラブアッセンブリー

地区研修・協議会報告



第1分科会

佐々木久直

2019-20 年度に新たなロータリーの「ヴィジョン声明」が発表され、4つの優先事項からなる「ロータリー行動計画」が5ヶ年計画にてスタートしました。2024年6月末にて当初計画期間の5年が過ぎましたが、引き続き2024-25年度も継続する事が決まりました。

第1分科会では、次年度の各クラブに下記の具体的な行動が要望されました。

①行動計画の4つの優先事項にそって戦略計画を立案し、MyRotary クラブセントラルへの今後3か年の数値目標を登録する。ロータリー行動計画は、1年毎に会長や理事役員・委員長などクラブ指導者が変わる事で運営上の弱点となっていた「継続性」を克服するため、次年度から「3ヶ年の戦略計画の目標数値の設定」をスタートさせます。次年度のクラブ会長は、5月30日までに3ヶ年の目標数値をクラブセントラルに記録し、持続可能なクラブ運営を目指してください。

②クラブセントラルに3ヶ年の会員増強の目標数値を記録する。行動規範の「DEIの定義」に適応し、会員資格が職業人だけでなく、その配偶者、学生（インターアクト等）、NPO法人のリーダーなど幅広い会員構成を推奨し、会員増強を図ります。また、衛星クラブなど新たな形態のクラブの設立を積極的に企画してください。

③「ポリオ根絶」は国際ロータリーの最優先事項である。2025年の5月10日（土）11日（日）に開催されるロータリーフードフェス（RFF）の開催目的は「ポリオ根絶キャンペーン」です。第2760地区全てのロータリーファミリーが参画して約8万人もの来場者が訪れる、ロータリー最大のイベントです。各クラブは一人頭2セット 4000円（1セット 2000円、内400円はポリオへの寄付）の購入協力と、会場での例会の開催などイベントへの参加を積極的に図ってください。

④米山記念奨学会寄付の各クラブの目標は、1人あたり20,000円です。

⑤危機管理委員会を設置し、特に青少年交換事業では必ず危機管理を行ってください。

⑥防災対策委員会は、東海地区で予測されている南海トラ

フ大地震の発生などに対し、他の地区からの寄付の受け入れやボランティアの受け入れの準備をお願いします。

⑧クラブ優秀賞、ガバナー特別賞の獲得を目指してください。

第2分科会

安藤滋朗

テーマ「魅力的で持続可能そして、成長する例会を創る」友情と親睦、プロフェッショナル及びリーダーシップ開発の機会、地域社会奉仕活動、地域社会を超えた奉仕、を大切に

する。

①例会の楽しみ②クラブ指導者への信頼

③自己成長の機会④つながり⑤意義ある奉仕を考え、望まれるクラブで在り続ける。ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として『奉仕の理念』を奨励し、これを育むことにある。そして、元気のクラブを目指すことが重要と考えます。

第3分科会

内藤幹夫

テーマ「公共イメージの向上について」

4つの活動内容1. 大きなインパクトをもたらす 2. 参加者の基盤を広げる3. 参加者の積極的な関わり 4. 活動への適応力を高める①MyRotaryの登録と活用②地区目標 60% 積極的な活用もお願いいたします。③ロータリーの友について1953年1月創刊号よりデジタルアーカイブで閲覧可能となっております。

第4分科会

土川正夫

国際奉仕委員会、これまでの様に発展途上の地域に出向き水道や教育の支援をする活動と併せ、国内でも近年は外国人の居住者が増えたことで、教育支援や交流イベントを開催し日本での暮らしのルールを伝える活動もあるとの事でした。すぐ開催でできる内容ではないですが数年後を見据え意義がある内容ですので是非検討してほしいとのことでした。

第5分科会

大鹿晃裕

R. I. では奉仕活動を〇〇Service と言いますが、日本のロータリーでは〇〇奉仕と表します。日本では「奉仕」というと自己犠牲を伴うイメージがあります。これが職業奉仕という言葉の意味と活動の内容を難しくしていると考えます。Service は「人の役に立つ働き」と思ってください。そして、4つのテストに基づいた自らの仕事を通して従業員、仕入先、会社、顧客全ての関係者に利益を得て、その利益の一部を各種奉仕活動の原資にしています。それらの活動全体が、人の役に立っているかを改めて考えるいい機会だと思えます。

第6分科会

山口雅志

ロータリー財団が自分たちのものであることを忘れない。各クラブの寄付目標は、年次基金1人あたり\$150以上、ポリオプラス基金1人あたり\$30以上です。また、各クラブはポールハリス・ソサエティ、ポリオプラス・ソサエティの参加者を積極的に増やしましょう。

第7分科会

都築 健

青少年奉仕関係のプログラムで「日本の未来の為に青少年と共に進もう」をテーマに開催されました。インターアクト委員長、ローターアクト委員長、RYLA委員長、青少年交換委員長、学友委員長が、それぞれの次年度の活動について熱く語られました。青少年奉仕はロータリークラブの中においても重要な活動の一つで、力を入れているプログラムですが、ローターアクトなどは会員の減少の問題に直面していて、その課題の解決に向けて提唱していないクラブにおいても協力が必要だということが共有されました。

第8分科会

江崎正和

米山奨学金プログラムについて勉強してきました。この事業は日本独自の交際奨学事業であり勉学はもちろんのことロータリアンとの「交流」を目的としたプログラムです。サポートが終わった後でも出来るだけ彼らと交流出来るよう心掛けてください。また、寄付が増えることにより奨学生の採用数も増えます。正しい日本を理解してくれる多くの国際人を育てるためにも引き続き寄付のご支援を宜しくお願いします。

第9分科会

牛田 滋

テーマ「ロータリーを学び、真のロータリアンになろう」の会 3年未満の会員向けの分科会に参加しました。名古屋宮の杜クラブのチャーターメンバーでもある鈴木会員からは、ロータリアンとして行動することの大切さをお話いただきました。竜橋バスターガバナーからはロータリーのクラブや国際ロータリー、ロータリー財団の組織についてのご説明を受けました。また、神野バスターガバナーからのお話では、ロータリーの親睦は Friendship ではなく Fellowship（ロータリーの志共にする仲間）であるとお話が印象に残っております。

私も先輩方のようにロータリー活動を楽しみながら立派なロータリアンになれるよう精進していきたいと思います。